

科目番号	科目名			英語名	
8290107	国際パートナーシップ研修			International Partnership Study (Southeast Asia)	
標準履修年次	単位数	開設学期	曜日	時限	使用教室
全	2 単位	夏期休暇中			
担当教員 (研究室・連絡先・オフィスアワー)					
森川一也、(4B-407・morikawa.kazuya.ga@u.tsukuba.ac.jp・随時)					
内容					
<p>本授業科目は、日本において語学を含む準備教育を実施した後、学生を東南アジア諸国へ派遣するとともに、学生の専門分野に応じた適正技術に係る実習・研究発表等を行うことで、以下の知識・能力を身に付けさせることを目的としたものである。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 英語による実践的なコミュニケーション能力・プレゼンテーション能力 2 派遣国や日本の社会・文化に対する理解 3 派遣国における発展段階に応じた課題、適正技術へのニーズ等に対する理解 4 適正技術の開発・実装に向けた課題の抽出 <p>成績評価は、参加学生からの報告書並びに報告会における発表等に基づき、授業担当教員が行う。なお、本授業科目は同じく自由科目(特設)として開設を申請しているコーチングに関する科目とペアで実施するものであり、適正技術とコーチングを身に付けることで、東南アジア諸国における社会基盤の構築を牽引する人材を養成することを目的としている。</p> <p>2018年度はベトナムホーチミン市のバイオテクノロジーセンターにおいて感染症ワークショップ(8月下旬)に参加する。病院等から提供される検体を用いて病原細菌の同定や薬剤感受性試験等を現地学生らと協力して行う。</p> <p>活動内容はレポートと発表にまとめる。</p>					
Language: <input checked="" type="checkbox"/> / <input type="checkbox"/> Japanese、 <input type="checkbox"/> English、 <input checked="" type="checkbox"/> Bilingual					
単位取得要件	発表、レポート				
使用教科書・教材					
成績評価	レポート				
<p>参加者募集は5月頃を予定する。 自費参加、またははばたけ！筑波大生の奨学金に応募することが可能。 白衣を持参すること。</p>					